

「守谷野鳥のみち」

*利根川・鬼怒川・小貝川に囲まれた北相馬台地縁辺の自然林と江戸時代初期までは内海だった湿地
中心市街地の身近で大規模な里山と有機的な動植物連鎖のあるビオトープと野鳥の天国
そこには貴重な日本の原風景が残されている

*静かな林間の**守谷野鳥の森散策路（土の道）**と明るい湿地草原の**鳥のみち（木の道）**が舞台
（全体を**野鳥のみち**と総称）
東京中心部から約1時間の大規模な緑地環境

*全周4kmの変化に富んだ本格的な自然歩道では、自然がいっぱい、時間がゆったり流れる

*市民団体、ボランティア、小中学生、行政、地域の人々の手づくり、地域力結集の魅力づくり、自分たちの楽しみのために、同じやるなら全国レベルでつくった

*中心市街地の身近な木漏れ日の森は、野鳥たちと共生の「**守谷野鳥の森散策路（土の道）**」
変化に富んだ、選べる全5ルート総延長2.5km
素敵なフットパス、鳥たちのおしゃべりを聞きながら、やすらぎのひとときを



*隣の「**鳥のみち（木の道）**」は、元内海の湿地縦断の本格的なバリアフリー木道 総延長730m 幅140cm 耐久性を考えた総ヒノキの市民手づくり



*野鳥たち、小動物と人間の共生、景観に配慮した設計、夜間はイタチやタヌキの遊び場にも
夏にはヘイケボタルも楽しめる
豊かな自然環境では無限の可能性を実感できる